



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域でつながる家庭教育応援事業 家庭教育応援リーダー育成事業
家庭教育支援者研修会相双地区研修

- 日 時：令和6年1月25日（木）13：30～16：10
- 会 場：小高生涯学習センター「浮舟文化会館」（南相馬市小高区本町二丁目89-1）
- テ ー マ：子どもへの適切な関わり方やしつけに関する理解を深め、子どもの健やかな成長について考えよう！
「地域で育む子どもの笑顔～子どもの健全な育ちのために大切にしたい事～」
- 講 師：特定非営利活動法人きぼう 副理事長兼統括 新妻 直恵 氏

【研修のまとめ】

- 上記テーマに関して、「家庭教育の視点」「困った子とは？」「保護者への支援」「子どもの発達に関わる相談・支援機関」等について経験・体験談をまじえながらわかりやすくお話いただきました。以下質疑応答です。
 - ① 療育と学校教育の集中の捉え方の違いについて
学校現場では、物事に長く取り組むことが必要になってくるが、療育の面でいうと、上手に出来るようになればよい、短期的集中の足し算をしていく。場面場面を積み重ねていく。
 - ② しつけされていない子の特徴と発達障害児との見極め方について
発達障害は機能的なもの。医学的根拠がある。
 - ③ 医療を進める際のポイントについて（診断を受けていない子）
情報のリサーチは必要不可欠。伝えるのは信頼関係がとれている人が良いが、管理職が行った方が良い。一番身近に関わる人は、子ども・保護者、両方にとっていい人でいてほしい。この表現が合っているかはわからないが、話しやすい立場でいてほしい。伝え方のポイントは、子ども主体であるのはもちろん、こうだったら、子どもが楽になる、成長するのでは？という伝え方や成長のよさをたくさん教えてもらえる、というようなアプローチはどうだろうか。
- その他、課題解決のために、専門的な関係機関等につながる方法についてや受講者自身の体験談等の話もありました。お子さんに発達障害がある保護者からは、学校から受診を勧めてもらい、発達に不安もあったから正直、安心した、とお話してくれました。

【研修の感想】

- わかりやすい内容で聞きやすかったです。一保護者としての参加でしたが、健全に地域の子どもの育っていくために気をつけるポイントなど勉強になりました。こういったことを少しでも多くの保護者知ることができたらと思います。
- どの項目も身が引き締まる思いで聞けました。主体は子どもたち、保護者と一緒になって育ちを応援していこうと改めて思いました。ありがとうございました！

